

# 総務常任委員会 研修レポート

研修テーマ（三重県）10月28日から30日  
①消防団の処遇改善・新庁舎建設（いなべ市）  
②公共交通オンデマンド方式（度会郡玉城町）  
③地域コミュニティの仕組みづくり（亀山市）



この施設は北上川河川敷を活用した自然体験提供施設で、現代社会で忘れがちな自然の素晴らしさ、人間本来の潜在能力を発見できるプログラムを有償で提供している。

## 新庁舎建設について

消防団の処遇改善は、大津町より高く、特に風水害出勤手当は5千円で大津町の2倍と手厚くなっているうえに、その他の制度も充実している。

## 消防団の処遇改善

## 地域コミュニティの仕組みづくり

「町づくり基本条例」を制定し、H28年に「地域まちづくり協議会」を設立し市内全域22地区に組織された。自治会等の各種団体で組織され運営交付金が支給される。

## オンデマンドバスの運行について

東大オンデマンド交通プロジェクトを活用した全町民が無料で利用できる画期的な仕組みである。特に高齢者の外出が活発になり、大学の分析でも医療費の軽減・健康寿命の拡大につながっている。

## オークス周辺にコミュニティのスペースが必要ではないか。

本町でもコミュニティ活性化策として良い制度ではないか、各地域の課題解決のための協議会の設立が急がれる。

# 議会広報編集特別委員会 研修レポート

研修テーマ（福岡県）10月2日から3日  
①新体制でリニューアル（うきは市）  
②全国コンクール奨励賞（宇美町）



前例主義はやめ、新しいことにチャレンジしています

表紙には子ども 裏表紙には高齢者

住民の声を聞く声メーター 実施中



表紙はスポーツがテーマ 一瞬が勝負です

# 経済建設委員会 研修レポート

研修テーマ（岩手県）10月7日から9日  
①花巻スポーツランド（花巻市）  
②北上市企業立地課（北上市）  
③オガールプロジェクト（紫波郡紫波町）  
④NPO法人フォルダ（北上市）  
⑤津波伝承館（陸前高田市）

補助金に頼らない新しい公民連帯による駅前都市開発事業での市庁舎建設などの取り組みで、従来の予算のありきではなく、見込まれる建設費用を決める、という逆算の流れが取られる。

## オガールプロジェクト

工業高校の誘致、すなわち地元から工業の担い手を育成するという強い信念のもと誘致活動をする。現在は200社を超える企業が操業中、市内高校生の地元就職率も5割を超え、地元定着率が上がった。

## 北上市企業立地課

この施設は北上川河川敷を活用した自然体験提供施設で、現代社会で忘れがちな自然の素晴らしさ、人間本来の潜在能力を発見できるプログラムを有償で提供している。

## 花巻スポーツランド



花巻スポーツランド

最終日は陸前高田市の東日本大震災復興状況の視察と今年新たにオープンした津波伝承館を見学し、復興にはまだまだ時間が必要と感じた。

## NPO法人フォルダ

大津町でいえば、NPO法人クラブおおつに近い団体だが、スポーツを軸に各種運動プログラムの運営、無料キッズスペースの運営、公共施設内でのカフェ運営など、より幅広い分野での活動をしている。

# 文教厚生委員会 研修レポート

研修テーマ（鳥取県・岡山県）10月23日から25日  
①鳥取型地域生活支援システム（西伯郡南部町）  
②学校長寿命化計画の策定（西伯郡伯耆町）  
③市民後見人制度（米子市）  
④岡山シティミュージアム（岡山市）



その他、③専門職と市民がチームで対応する市民後見人制度の調査と、④岡山シティミュージアムの見学を行った。

平成20年から28年まで約30億円かけ段階的に耐震改修と施設改修を行っているが、今後の施設整備の補助金を受けるため策定。結果として維持管理コストが現在の年間2・7億円から今後40年間は1・2億円に削減できる計画になっている。

地域振興協議会による住民主体の地域づくりを特徴としている。既存の空き家住宅を無償で借り受け、町から上限100万円の補助金でリフォームした施設で百歳体操と昼食づくり、食事の共同調理などのミニサービスを提供している。成果として、認知症予防や早期発見、健康増進、健康寿命の延長、家族の安心などの事例があげられた。

## 鳥取型地域生活支援システム



## 学校長寿命化計画の策定